



もも・ネクタリン特報

④

令和8年4月17日
JA中野市園芸課
JA中野市りんご・もも部会

4月中下旬（落花直後）の散布薬剤については、特報No.③をご確認ください。

【生育状況】（参考：平岡地点）

あかつき	平年	R8	R7	R6	R5	R4
開 花	4/14	4/9	4/18	4/13	4/6	4/18
満 開	4/18	4/14頃	4/22	4/16	4/11	4/23
落 花	4/27	4/22頃	4/30	4/26	4/19	4/30



第4回 薬剤散布 【もも】 ※せん孔細菌病重要防除期間

散布時期	落花 10 日後 目安：5/1 ～ 5/5 頃	散布日	月	日
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	散布量	ℓ
	展着剤（アピオンE）	50ml		
	劇モスピラン顆粒水溶剤	25g（前日、3回）		
	ストロビードライフロアブル	50g（前日、3回）		
	アグレプト水和剤	100g（60日前、2回）		
対象病害虫	せん孔細菌病、黒星病、灰星病、うどんこ病 アブラムシ類、モモハモグリガ、シンクイムシ類、カメムシ類			
散布量	10a 当たり：400ℓ			
注意事項	① モスピラン顆粒水溶剤は「劇物」です。購入の際は「印鑑」をご持参下さい。 ② アグレプト水和剤、アグリマイシン-100等の使用回数は、合計2回までとする。尚、ぶどうにかかると種無し化が生じるため、飛散には注意する。 ③ ストロビードライフロアブルは、ぶどうにかかると薬害を生じる恐れがあるため飛散には注意する。			

● せん孔細菌病撲滅へ ～春型枝病斑の除去、防除の徹底を～

開花期～6月末までせん孔細菌病重要防除期間となります。

近年、菌密度は減少傾向のため、引き続き枝病斑切除と薬剤防除の徹底により菌密度低下に努めましょう。例年同様に園地内の点検を行い5月末まで病斑を見つけ次第切除をお願いします。

裏面には、ネクタリン第4回防除など記載

次回特報配布日
5月1日（予定）

第4回 薬剤散布

【ネクタリン】

※せん孔細菌病重要防除期間

散布時期	落花 10 日後 目安：5/1 ~ 5/5 頃	散布日	月	日
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	散布量	ℓ
	展着剤（アピオンE）	50ml		
	劇モスピラン顆粒水溶剤	25g	（3 日前、3 回）	
	トレノックスフロアブル	200ml	（30 日前、5 回）	
	アグレプト水和剤	100g	（60 日前、2 回）	
対象病害虫	せん孔細菌病、黒星病、灰星病 モモハモグリガ、アブラムシ類、シンクイムシ類、カメムシ類			
散布量	10a 当たり：400ℓ			
注意事項	① モスピラン顆粒水溶剤は「劇物」です。購入の際は「印鑑」をご持参下さい。 ② 【代替】トレノックスフロアブルに代えて、ストロビードライフフロアブルの 2,000 倍（前日、3 回）でもよい。尚、ストロビードライフフロアブルは、ぶどうにかかると薬害を生じる恐れがあるため飛散には注意する。			

● 高品質生産に向けて（着果管理の流れ）

- ①花粉のある品種 : 摘蕾・摘花 ⇒ 予備摘果 ⇒ 仕上げ摘果 ⇒ 被袋時の見直し
- ②花粉のない品種 : 予備摘果 ⇒ 仕上げ摘果 ⇒ 被袋時の見直し
(川中島白桃など)

※基本的な着果管理の実施を行い、核割れ（核異常果）等のロス果を減らしましょう。

※一度に多くの果実を制限しないよう注意してください。

※花粉のある品種は、早く摘果をすすめ良い幼果をつくとともに樹勢を保つ。

花粉のない品種は、結実を確認し変形のない肥大の良い果実を残す。

※白鳳系・あかつき・赤宝・なつっこ・白根白桃などは摘蕾する。

※川中島白桃などの品種で結実が安定しない場合は、摘蕾・摘花を控える。